平成27年度文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業
富山県におけるインバウンド対応のできる中核的ホテルマン育成

# 事業成果報告書

学校法人　浦山学園　　富山情報ビジネス専門学校

# 目　　次

１．事業概要 ..... 1

２．海外連携教育プログラム..... 15

３．フィリピン・デ・ラサール大学　調査報告..... 31

４．自発的インターンシッププログラム実証講座..... 39

５．ホテルＥＳＰ実証講座..... 49

# 事業概要

| H27 | 中核 | |
|---|---|---|

**平成27年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業　事業計画書**

## 1. 分野名

| ⑬観光 | 「その他」分野名 | |
|---|---|---|

## 2. 事業名称

| 富山県におけるインバウンド対応のできる中核的ホテルマン育成 |
|---|

## 3. 申請する職域プロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 職域プロジェクト | （1） 職域プロジェクトA<br>（「地域版学び直し教育プログラム」の開発・実証） | ○ |
| | （2） 職域プロジェクトB<br>（「特色ある教育推進のための教育カリキュラム等」の開発・実証） | |

※申請する取組いずれかひとつに「○」を記入すること。（大学院プログラムは別様式）

| 「女性の学び直し」に対応する場合、右欄チェック | |
|---|---|

## 4. 代表機関

■ 代表法人（申請法人）等

| | |
|---|---|
| 法　人　名 | 学校法人　浦山学園 |
| 理 事 長 名 | 浦山　哲郎 |
| 学　校　名 | 富山情報ビジネス専門学校 |
| 所　在　地 | 〒　939-0341<br>富山県射水市三ケ613 |

■ 事業責任者（事業全体の統括責任者）

| | |
|---|---|
| 職　　名 | 校長 |
| 氏　　名 | 永井真介 |
| 電話番号 | 0766-55-1420 |
| E－mail | s-nagai@te.urayama.ac.jp |

■ 事務担当者（文部科学省との連絡担当者）

| | |
|---|---|
| 職　　名 | 学事課長 |
| 氏　　名 | 南　忠志 |
| 電話番号 | 0766-55-1420 |
| FAX番号 | 0766-55-0757 |
| E－mail | t-minami@te.urayama.ac.jp |

（1）構成機関（機関として本事業に参画する学校・企業・団体等）

| | 構成機関（学校・団体・機関等）の名称 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 学校法人浦山学園　富山情報ビジネス専門学校 | プロジェクト統括 | 済 | 富山県 |
| 2 | 学校法人KBC学園 | 実証・普及 | 済 | 沖縄県 |
| 3 | 川村学園女子大学 | 実施・実証 | 済 | 千葉県 |
| 4 | 玉川大学 | 実施・外国語 | 済 | 東京都 |
| 5 | 有限会社ザ・ライスマウンド | 実施・実証・外国語・事務局・普及 | 済 | 東京都 |
| 6 | 専門学校岡山情報ビジネス学院 | 実証・普及 | 済 | 岡山県 |
| 7 | 国際外語・観光・エアライン専門学校 | 外国語・普及 | 済 | 新潟県 |
| 8 | 学校法人麻生塾 | 実証・普及 | 済 | 福岡県 |
| 9 | ANAクラウンプラザホテル富山 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 10 | 富山第一ホテル | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 11 | ホテルニューオータニ高岡 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 12 | 特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構 | 実施・外国語・普及 | 済 | 兵庫県 |
| 13 | 株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所 | 実施・外国語・普及 | 済 | 東京都 |
| 14 | H1研究所 | 実証 | 済 | 東京都 |
| 15 | フォーエバー株式会社 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 16 | 跡見学園女子大学 | 実施 | 済 | 埼玉県 |
| 17 | 株式会社井門観光研究所 | 実施・実証 | 済 | 東京都 |
| 18 | 学校法人穴吹学園　専門学校穴吹カレッジ | 実証・普及 | 済 | 香川県 |
| 19 | 流通経済大学 | 実施 | 済 | 茨城県 |
| 20 | 横浜商科大学 | 実施 | 済 | 神奈川県 |
| 21 | 郡山情報ビジネス公務員専門学校 | 実証・普及 | 済 | 福島県 |
| 22 | グランテラス富山 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 23 | 宇奈月杉乃井ホテル | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 24 | 学校法人龍澤学館　盛岡情報ビジネス専門学校 | 実証・普及 | 済 | 岩手県 |
| 25 | 学校法人龍馬学園　高知情報ビジネス専門学校 | 実証・普及 | 済 | 高知県 |
| 26 | 早稲田大学 | 外国語 | 済 | 東京都 |
| 27 | 立教大学 | 実証 | 済 | 東京都 |

（2）構成員（委員）の氏名（上記（1）の機関から参画する者及び個人で本事業に参画する者等）

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
|---|---|---|---|---|
| 浦山　哲郎 | 学校法人浦山学園 | プロジェクト代表 | 済 | 富山県 |
| 丹治　朋子 | 川村学園女子大学 | 実施・実証 | 済 | 東京都 |
| 益田　誠也 | 玉川大学観光学部 | 実施・外国語 | 済 | 東京都 |
| 井門　隆雄 | 株式会社井門観光研究所 | 実施・実証 | 済 | 東京都 |
| 栗林　直子 | 国際外語・観光・エアライン専門学校 | 外国語・普及 | 済 | 新潟県 |
| 高岡　信吾 | 専門学校岡山情報ビジネス学院 | 実証・普及 | 済 | 岡山県 |
| 成底　敏 | インターナショナルリゾートカレッジ | 実証・普及 | 済 | 沖縄県 |
| 田中　雅彦 | 学校法人麻生塾　国際交流センター | 実証・普及 | 済 | 福岡県 |
| 永井　真介 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 四谷　真行 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 髙野　直人 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 井村　日登美 | H1研究所 | 実証 | 済 | 東京都 |
| 北山　明弘 | ANAクラウンプラザホテル富山 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 坂井　義昭 | 富山第一ホテル | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 財津　達朗 | ホテルニューオータニ高岡 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 松浦　宏行 | フォーエバー株式会社 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 大類　晶嗣 | 特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構 | 実施・外国語・普及 | 済 | 兵庫県 |
| 遠藤　乙彦 | 株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所 | 実施・外国語・普及 | 済 | 東京都 |
| 野上　マルドナド　千代子 | 株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所 | 実施・外国語 | 済 | 東京都 |
| 松坂　健 | 跡見学園女子大学 | 実施 | 済 | 東京都 |
| 大平　康喜 | 穴吹カレッジグループ | 実証 | 済 | 香川県 |
| 佐戸　三千代 | 専門学校穴吹ビジネスカレッジ | 普及 | 済 | 香川県 |
| 秋山　正人 | 流通経済大学 | 実施 | 済 | 茨城県 |
| 宍戸　学 | 横浜商科大学商学部貿易・観光学科 | 実施 | 済 | 神奈川県 |
| 小林　一雄 | 郡山情報ビジネス公務員専門学校 | 実証・普及 | 済 | 福島県 |
| 湯上　均 | グランテラス富山 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 龍澤　尚孝 | 盛岡情報ビジネス専門学校 | 実証・普及 | 済 | 岩手県 |
| 芝　鉄夫 | 高知情報ビジネス専門学校 | 実証・普及 | 済 | 高知県 |
| 種村　和博 | 宇奈月杉乃井ホテル | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 常田　絵里 | フリーランス通訳 | 外国語 | 済 | 東京都 |
| 飯塚　正成 | 有限会社ザ・ライスマウンド | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 東京都 |
| 飯塚　久仁子 | 有限会社ザ・ライスマウンド | 事務局 | 済 | 東京都 |
| 南　忠志 | 富山情報ビジネス専門学校 | 事務局 | 済 | 富山県 |
| 矢野　安剛 | 早稲田大学 | 外国語 | 済 | 東京都 |
| 玉井　和博 | 立教大学 | 実証 | 済 | 東京都 |

（2）-①実施委員会（構成員（委員）の氏名（上記（2）の者うち本委員会構成員））

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
|---|---|---|---|---|
| 浦山　哲郎 | 学校法人浦山学園 | プロジェクト代表 | 済 | 富山県 |
| 丹治　朋子 | 川村学園女子大学 | 実施・実証 | 済 | 東京都 |
| 益田　誠也 | 玉川大学観光学部 | 実施・外国語 | 済 | 東京都 |
| 井門　隆雄 | 株式会社井門観光研究所 | 実施・実証 | 済 | 東京都 |
| 永井　真介 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 四谷　真行 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 髙野　直人 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 北山　明弘 | ANAクラウンプラザホテル富山 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 坂井　義昭 | 富山第一ホテル | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 財津　達朗 | ホテルニューオータニ高岡 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 松浦　宏行 | フォーエバー株式会社 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 大類　晶嗣 | 特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構 | 実施・外国語・普及 | 済 | 兵庫県 |
| 遠藤　乙彦 | 株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所 | 実施・外国語・普及 | 済 | 東京都 |
| 野上　マルドナド　千代子 | 株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所 | 実施・外国語 | 済 | 東京都 |
| 松坂　健 | 跡見学園女子大学 | 実施 | 済 | 埼玉県 |
| 秋山　正人 | 流通経済大学 | 実施 | 済 | 茨城県 |
| 宍戸　学 | 横浜商科大学商学部貿易・観光学科 | 実施 | 済 | 神奈川県 |
| 湯上　均 | グランテラス富山 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 種村　和博 | 宇奈月杉乃井ホテル | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 飯塚　正成 | 有限会社ザ・ライスマウンド | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 東京都 |

（2）-②実証委員会（構成員（委員）の氏名（上記（2）の者うち本委員会構成員））

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
|---|---|---|---|---|
| 浦山　哲郎 | 学校法人浦山学園 | プロジェクト代表 | 済 | 富山県 |
| 丹治　朋子 | 川村学園女子大学 | 実施・実証 | 済 | 東京都 |
| 井門　隆雄 | 株式会社井門観光研究所 | 実施・実証 | 済 | 東京都 |
| 高岡　信吾 | 専門学校岡山情報ビジネス学院 | 実証・普及 | 済 | 岡山県 |
| 成底　敏 | インターナショナルリゾートカレッジ | 実証・普及 | 済 | 沖縄県 |
| 田中　雅彦 | 学校法人麻生塾　国際交流センター | 実証・普及 | 済 | 福岡県 |
| 永井　真介 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 四谷　真行 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 髙野　直人 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 井村　日登美 | H1研究所 | 実証 | 済 | 東京都 |
| 北山　明弘 | ANAクラウンプラザホテル富山 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 坂井　義昭 | 富山第一ホテル | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 財津　達朗 | ホテルニューオータニ高岡 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 松浦　宏行 | フォーエバー株式会社 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 大平　康喜 | 穴吹カレッジグループ | 実証 | 済 | 香川県 |
| 小林　一雄 | 郡山情報ビジネス公務員専門学校 | 実証・普及 | 済 | 福島県 |
| 湯上　均 | グランテラス富山 | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 龍澤　尚孝 | 盛岡情報ビジネス専門学校 | 実施・実証 | 済 | 岩手県 |
| 芝　鉄夫 | 高知情報ビジネス専門学校 | 実証・普及 | 済 | 高知県 |
| 種村　和博 | 宇奈月杉乃井ホテル | 実施・実証 | 済 | 富山県 |
| 飯塚　正成 | 有限会社ザ・ライスマウンド | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 東京都 |
| 玉井　和博 | 立教大学 | 実証 | 済 | 東京都 |

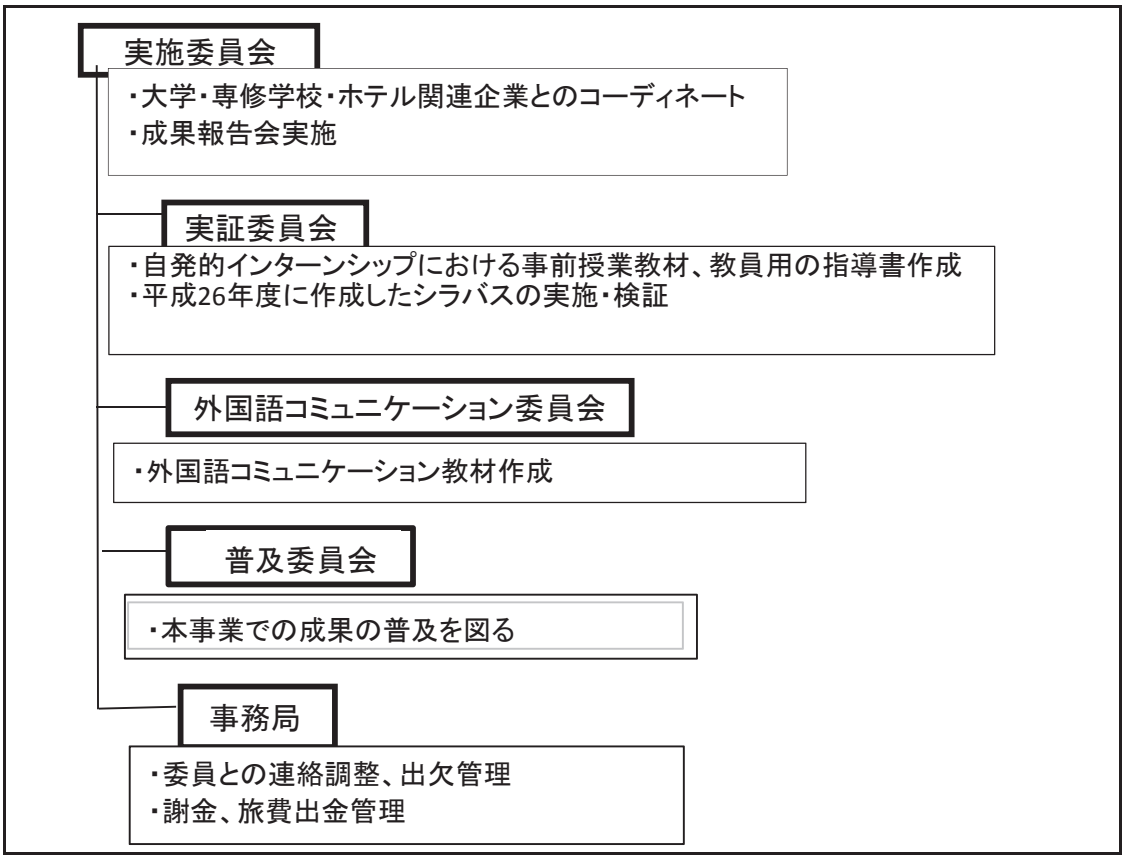
（2）−③ 外国語コミュニケーション委員会（構成員（委員）の氏名（上記（2）の者うち本委員会構成

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
|---|---|---|---|---|
| 浦山　哲郎 | 学校法人浦山学園 | プロジェクト代表 | 済 | 富山県 |
| 益田　誠也 | 玉川大学観光学部 | 実施・外国語 | 済 | 東京都 |
| 栗林　直子 | 国際外語・観光・エアライン専門学校 | 外国語・普及 | 済 | 新潟県 |
| 永井　真介 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 四谷　真行 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 髙野　直人 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 大類　晶嗣 | 特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構 | 実施・外国語・普及 | 済 | 兵庫県 |
| 遠藤　乙彦 | 株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所 | 実施・外国語・普及 | 済 | 東京都 |
| 野上　マルドナド　千代子 | 株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所 | 実施・外国語 | 済 | 東京都 |
| 常田　絵里 | フリーランス通訳 | 外国語 | 済 | 東京都 |
| 飯塚　正成 | 有限会社ザ・ライスマウンド | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 東京都 |
| 矢野　安剛 | 早稲田大学 | 外国語 | 済 | 東京都 |

（2）−④　普及委員会（構成員（委員）の氏名（上記（2）の者うち本委員会構成員）

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
|---|---|---|---|---|
| 浦山　哲郎 | 学校法人浦山学園 | プロジェクト代表 | 済 | 富山県 |
| 栗林　直子 | 国際外語・観光・エアライン専門学校 | 外国語・普及 | 済 | 新潟県 |
| 高岡　信吾 | 専門学校岡山情報ビジネス学院 | 実証・普及 | 済 | 岡山県 |
| 成底　敏 | インターナショナルリゾートカレッジ | 実証・普及 | 済 | 沖縄県 |
| 田中　雅彦 | 学校法人麻生塾　国際交流センター | 実証・普及 | 済 | 福岡県 |
| 永井　真介 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 四谷　真行 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 髙野　直人 | 富山情報ビジネス専門学校 | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 富山県 |
| 大類　晶嗣 | 特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構 | 実施・外国語・普及 | 済 | 兵庫県 |
| 遠藤　乙彦 | 株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所 | 実施・外国語・普及 | 済 | 東京都 |
| 佐戸　三千代 | 穴吹カレッジグループ | 普及 | 済 | 香川県 |
| 小林　一雄 | 郡山情報ビジネス公務員専門学校 | 実証・普及 | 済 | 福島県 |
| 龍澤　尚孝 | 盛岡情報ビジネス専門学校 | 実証・普及 | 済 | 岩手県 |
| 芝　鉄夫 | 高知情報ビジネス専門学校 | 実証・普及 | 済 | 高知県 |
| 飯塚　正成 | 有限会社ザ・ライスマウンド | 実施・実証・外国語・普及 | 済 | 東京都 |

（4）事業の実施体制図（イメージ）




## 6. 事業の内容等

（1）事業の目的・概要

①目的・概要

富山県を訪問する外国人観光客が急速に進む中、本県における外国人受入れを担う人材の育成と輩出を目的とする。このことを達成するために前年度の自発的インターンシップモデルコース開発・実証の成果と結果を踏まえ、本年度は学生自らがホテル従業員の立場から考え、行動し、学ぶことができる業務参画型のインターンシップのプログラムを開発し、その実証を行う。また、宿泊業のグローバル化を推進するためにホテル専門英語を学ぶための教材（ESP教材）を開発し、実証する。さらに、異文化を理解し、それを受け入れるための素養作りおよびコミュニケーション力の向上を目的とした海外連携4ヶ月間教育プログラムの設計を行う。

観光分野コンソーシアム事業については、本職域プロジェクトが幹事役となり、本年度に採択された職域プロジェクトで行われている事業内容の共有するとともにとインターネットポータルサイトを構築・運用する。

②養成する人材像

訪日外国人に対し外国語でコミュニケーションをとり、積極的に豊かな自然を有する富山の魅力を伝えることができる人材。

（2）事業の実施意義や必要性について

① 当該分野における人材需要等の状況、それを踏まえた事業の実施意義

平成25年度の富山県の観光客入れ込み数は、平成24年度の2758万人から6.6%の増加し、2941万人となった。そのうち、富山県内に宿泊をした者の数は289万人となっており、90%を超える旅行者が富山県の着地をしていない状況である。

訪日外国人の過去3年間の推移は、平成23年度に約59,000人、平成24年度は81,000人、平成25年度には129,000人と前年度比59%増、一昨年度比では200%を超える旅行者が富山県を訪れている。（富山県観光・地域振興局観光課「平成25年富山県観光客入れ込み数（推移）」より。）この傾向は、本年3月の北陸新幹線開通等の要因によりさらに増加することが予測されている。

これらの要因から、富山県としては、魅力ある観光ルートの開発や宿泊業の強化、さらには町全体のグローバル化が必要となってきた。

②取組が求められている状況、本事業により推進する必要性

富山県では、円安や格安航空会社等が展開するオープンスカイ制度導入、また北陸新幹線の開通によって外国人の更なる増加が見込まれ中、東南アジアを中心としたとり積極的な誘客活動を推し進めているところである。

また、富山県では、「とやまブランドの確立～選ばれ続ける観光県づくり～」の一環として、富山県全体の交通インフラはもちろんのこと、飲食店、お土産店、宿泊業等のグローバル化に取り組んでいるところであり、各市町村レベルでさまざまな取組が行われているところである。

本プロジェクトでは、外国人受け入れ体制整備に対するさまざまな施策の中から、訪日外国人を受け入れるための宿泊業のグローバル化に着眼し、前年度から中核的ホテルマンの育成に取り組んでいる。具体的には訪日外国人に対し、外国語でコミュニケーションをとり、積極的に豊かな自然を有する富山の魅力を伝えることができる人材の養成を目指している。このことは、「選ばれ続ける観光県づくり」事業に対して人材育成という観点からその効果が期待される。

③取組実施にあたっての平成26年度までに実施された職域プロジェクト等の成果の活用方針、方法等

〇中核的ホテルマン育成指針、カリキュラム、シラバスの導入および海外連携プログラムの最終設計

昨年度開発した教育カリキュラム等は2年間のカリキュラムと新規設定10科目各15時間分（述べ150時間）のシラバスを開発した。このカリキュラムおよび新科目の運用は、平成28年度から本校で実施する。

また、1年次後半に4ヶ月間予定している海外連携教育プログラムについては、今年度にフィリピン・ラサール大学およびマカティ大学と教育設計を行い具体的な海外連携教育プログラムとして平成28年度から導入する。

〇自発的インターンシップモデルコース

前年度に開発した自発的インターンシップモデルコースは、業務補助型のモデルとして学習成果を得ることができた。具体的な成果としては、調べる、考える、教えあう、質問する課題を発見すること等を自発的に行うことで、できるようになった。また、その成果の振り返りの中で、業務補助型からインターンシップ先ホテルの従業員という立場から業務に参画し学びを得る、いわゆる業務参画型インターンシップモデルの開発が必要という結果となり、本年度は、この開発と実証を行うこととした。

〇単位互換を実施する上で求められる外国語コミュニケーション力調査

昨年度実施した外国語コミュニケーション力調査の結果をもとに、本年度は、「ESP（English for Specific Purposes ）」いわゆるホテルマンとして働くために必要な特有の英語を身につけるための教材開発と検証的授業を実施する。

（3）前年度までの取組概要・成果と本事業との継続性

（平成26年度事業）
・取組概要
①中核的ホテルマン育成指針、カリキュラム編成表、シラバス作成
②自発的インターンシップモデルの調査・開発および実証
③フィリピン、アメリカ等における海外連携教育実施に向けての枠組みづくりおよび外国語コミュニケーション力に関する調査

・事業成果
①2年間カリキュラム等の策定は終了。また、新たに付加された科目10科目のシラバス150時間分を開発、シラバスの一部は平成27年度に実証。
②自発的インターンシップモデルコースの調査・開発、実証を行った
・学生は「雑用」にも一つ一つの意味がある事を理解し、積極的に行うことができた
・参加者の多くがインターンシップの意味を再認識し、学びが深まったことを実感。
・ホテル側のメリットの強化を図るために、業務参画型のインターンシップ体制の整備が必要であることがわかった。
③外国語コミュニケーション力についての調査を行った。
・ホテル・観光分野に特化したESP（専門英語）を学ぶための教材が必要であることがわかった
・専門用語500語程度および日常生活用語1000語程度の語学を学ぶ必要がある。
・教材内容としてCEFR（Common European Framework ofReference for Langages 「ヨーロッパ言語共通参照枠組み」）準拠のCan-Doタスクを取り入れ教材開発等を行い、より実践的な積上げ型（ストック型）の英語学習方法が望まれる。
④海外の留学・研修プログラムのヒアリング調査
・海外における4ヶ月間程度の研修プログラムを組むことにより、ホテルマンとしての必要なコミュニケーション力やオペレーション能力が身につくことがわかった。
・先行研究などの事例も参考に、フィリピンでの海外連携プログラムが有効な方法であることがわかった。
⑤上記成果物のwebページでの公開（URL:http://26monka-itaku.net/kanko/toyama/）

・本年度事業との継続性・関連性（成果を本年度の取組にどのように活用するのか）
上記の①～④の成果を踏まえ、本年度は業務参画型インターンシップモデルのの開発・実証、ESPを学ぶための教材の開発実証、4ヶ月間の海外連携教育プログラムの開発を行う。

・平成26年度に本委託事業を採択している場合は実績報告書（収支精算書除く）を添付すること。

（4）事業の成果目標

期待される活動指標(アウトプット)・成果目標及び成果実績(アウトカム)

■期待される活動指標（アウトプット）
・海外連携教育プログラム（4ヶ月バージョン）
・自発的インターンシッププログラム（業務参画型）教材・教員用の指導書作成
・ホテルESP教材
・事業成果をまとめた報告書
・コンソーシアム事業の報告書
・コンソーシアム情報公開用ポータルサイト

■成果目標及び成果実績（アウトカム）
・訪日外国人に対するオペレーションを英語を言語として学ぶことによりスムーズに対応するコミュニケーション力を身につける。（平成28年度目標）
・ホテルの従業員として業務に参画し、実体験を通してホテル業界を知り、学ぶことができる。（平成27年度に本校学生6名を対象とする実施）
・ホテルマンとして必要な業界の専門英語（ESP）を理解する。（平成27年度に本校学生15名を対象

（5）事業の実施内容（※本事業の運用方針及び基本方針等を踏まえ具体的な取組内容を記載すること）

① 会議（目的、体制、開催回数等）

〇実施委員会
目的：事業内容の確認、進捗管理、予算執行管理
体制：職域プロジェクト参画委員　20名体制
開催回数：2回（8、2月）

〇実証委員会
目的：事業内容の確認、事業推進のための調査・研究および開発、進捗管理
体制：職域プロジェクト参画委員　22名体制
開催回数：3回（8、10、1月）

〇外国語コミュニケーション委員会
目的：事業内容の確認、事業推進のための調査・研究および開発、進捗管理
体制：職域プロジェクト参画委員　12名体制
開催回数：3回（8、10、12月）

〇普及委員会
目的：事業内容の普及
体制：職域プロジェクト参画委員　15名体制
開催回数：2回(9、11月）

〇コンソーシアム会議
目的：職域プロジェクトで行われている事業内容を共有する
体制：各職域プロジェクトから代表者　17名体制
開催回数：3回(8、10、1月）

〇事務局会議
目的：事業推進のための調整
体制：事務局メンバー
開催回数：2回（8月、12月）

② 調査等（目的、対象、規模、手法、実施方法等）

③ モデルカリキュラム基準、達成度評価、教材等作成（目的、規模、実施体制等）

○自発的インターンシッププログラム（業務参画型）作成
目的　：充実したインターンシップにするためには学生に対する効果的な事前講習と終了後に振り返りを促す必要があるためその教材を開発する。
規模　：①インターンシップ事前講習プログラムとして必要とされる知識や技術を学ぶ教材（90分×5ｺﾏ）
②自発的インターンシッププログラム（1～3ヶ月程度）
③事後講習プログラムとして振り返りや学習内容の定着を助長する教材（90分×3ｺﾏ）
実施体制　：平成26年度の調査結果をもとに、本会実証委員会で検討し内容を決定する。

○自発的インターンシッププログラム教員用の指導書および副教材の作成
目的　：上記①の教育を実施するための指導書および副教材を作成する
規模　：①事前講習プログラム　90分×5コマ分
②事後講習プログラム　90分×3コマ分
実施体制　：平成26年度の調査結果をもとに、本会実証委員会で検討し内容を決定する。

○海外連携教育プログラム
目的　：訪日外国人受入れのための、異文化理解、コミュニケーション力、オペレーション力の向上を目的とする。
規模　：4ヶ月間の研修プログラム
実施体制　：本校教員および学識経験者、現地コンサルタント等で検討チームを結成し原案作成。
開発手法　：①7月下旬に本事業からフィリピンのラサール大学、マカティ大学に担当委員を派遣し、4ヶ月間の教育プログラム骨子開発や教育環境の確認を行う。
②8月上旬～10月下旬までにインターネット会議などで内容を検討し決定する。
導入　：カリキュラムは平成28年度生から導入を開始する。

○ホテルESP教材
目的　：ホテルESP教材
規模　：90分×30回　300ｾﾝﾃﾝｽ　500語
実施体制　：本校教員、ホテル英語の専門家およびフィリピンの大学のホテルマネジメント学科の教員の協力を得ながら作成。

④実証講座

○自発的インターンシッププログラム（業務補助型）の検証
目的　：昨年度開発した業務補助型インターンシップとして実施。
対象　：本校ホテルブライダル学科　1年生
規模　：2週間×2例
時期　：平成27年8月
方法　：学生を業務補助員としてホテルに派遣し実習

○自発的インターンシッププログラム（業務参画型）の検証
目的　：業務参画型インターンシッププログラムを検証的に実施する。
対象　：本校ホテルブライダル学科
規模　：①事前学習　90分×5コマ
②インターンシップ1ヶ月
③事後学習　90分×3コマ
時期　：平成27年12月～平成28年1月
方法　：①座学
②インターンシップ
③座学（成果報告）

○ホテルESP講座検証
目的　：ホテルESP教材の内容を検証する
対象　：本校ホテルブライダル学科　1年生　15名程度。
規模　：90分×8コマ　80センテンス　120語
時期　：平成27年11、12月
方法　：座学

（6）事業成果及び事業終了後の方針（成果の活用、継続性・関連性、発展性　等）

（事業成果物）
①自発的インターンシッププログラム教材
②自発的インターンシッププログラム教員用の指導書
③海外大学との単位認定基準を定める
④ホテルESP教材
⑤事業成果をまとめた報告書
⑥コンソーシアムポータルサイト

（成果の活用等）
・①、②平成28年度から本校において導入。また本プロジェクト参画大学、専門学校へも普及を図る
・③平成28年度から本校において導入。また本プロジェクト参画専門学校へも普及を図る
・④平成28年度から本校において導入。また富山県のホテルマンや観光業に携わる方へ学びなおし教材として使用
・成果物を普及させるために、成果報告会を開催する
・成果物を普及させるための組織結成を検討する

（7）「女性の学び直し」に対応した取組内容等

（事業実施体制、プログラム構成、環境配慮等、女性の学び直しに対応する取組内容等）
なし。

※「3. 申請する職域プロジェクト」で、「女性の学び直し」対応欄
にチェックを入れた場合に記入

# 海外連携教育プログラム

# 海外連携教育プログラム

P-01

---

# 海外連携教育プログラム

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 留学時期 | １年次９月～12月の4ヶ月間 |
| 場所 | デ・ラ・サール大学セント・ベニール校 |
| 対象者 | 富山情報ビジネス専門学校ホテル・ブライダル学科の学生および友好関係にある大学・専門学校の学生 |
| 履修科目 | 講義と実習で378時間＋インターンシップ180時間＝合計558時間　表１参照 |
| 1クラスの人数 | 15名～25名　日本人単独クラス |

P-02

# デ・ラ・サール大学　セントベニール校









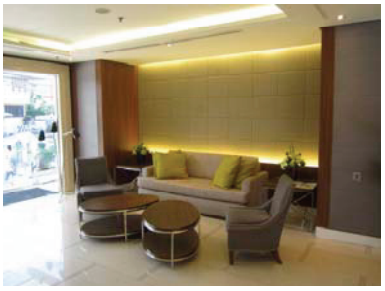
P-03

---

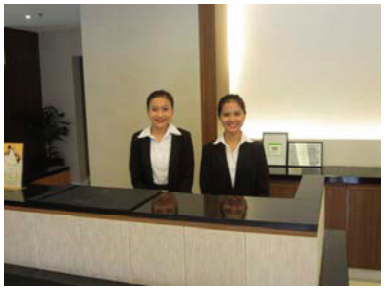
## フロント







フロント横ロビー



インターンシップ生





ドアマン

P-04

# レストラン　1F





**正しいナフキンの折り方やテーブルセッティング（朝食、昼食、夕食）**
**レストランサービスの実習を行う。**



P-05

---

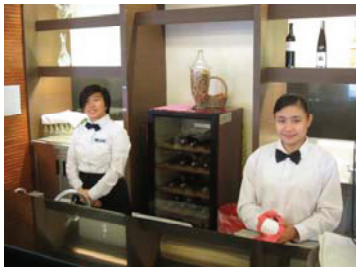
# レストラン　最上階





**最上階のプール**






**インターンシップ生　グラス、ナフキン磨きの様子**

P-06

# 宿泊室



5ツ星クラスの部屋2室

4ツ星クラスの部屋47室





P-07

---

# チャペル

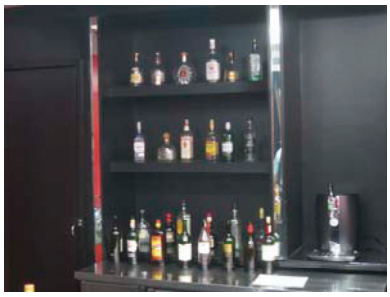


P-08

# バーラボラトリー





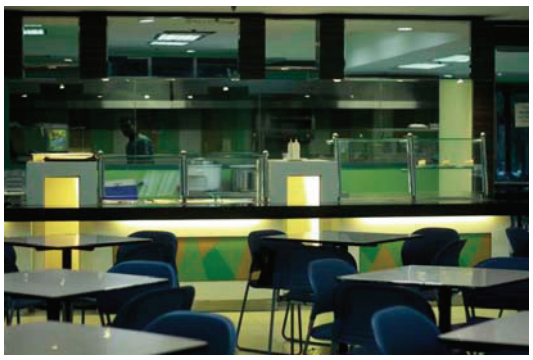


**ノンアルコールからビール、蒸留酒、フレアバーテンディングまで**

P-09

---

# カフェテリア







P-10

# スナックバー











**学生運営　軽食コーナー**

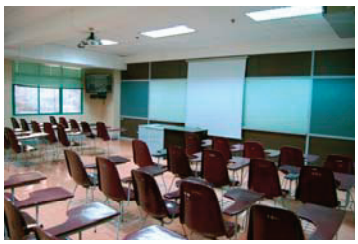
P-11

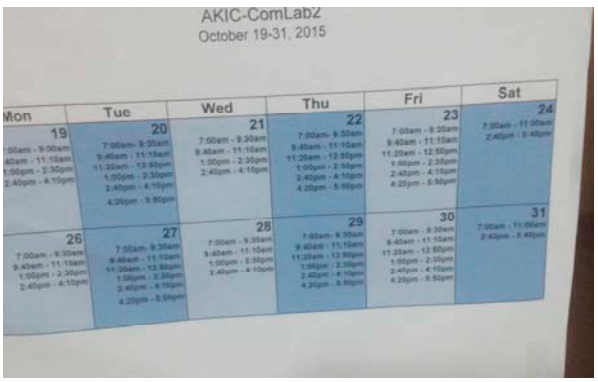
---

# 講義室　授業風景














**パソコン教室があり、授業で使用している以外は時間を決めて学生に開放されている**

**授業で指示される補助教材にアクセスし学習できる環境になっている**

P-12

# グラスや銀器、備品などの管理



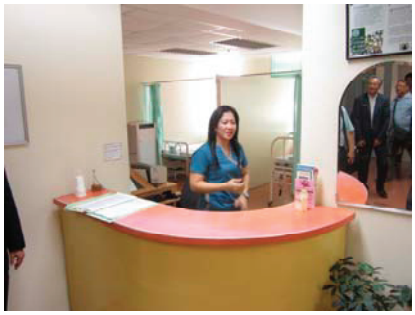




P-13

---

# 学内クリニック







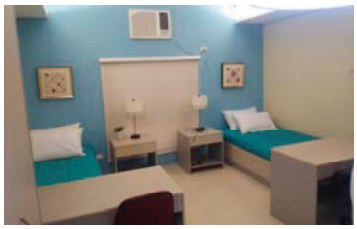
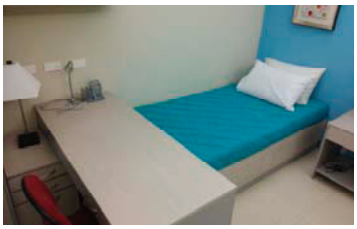
**常駐の医者と看護師が対応する。**

**健康診断と薬は無料で学生に提供される。**

P-14

# UNIVERSITY COLLEGE RESIDENCE

レディースドミトリー








**2名部屋1名7,900ペソ（1ヶ月）**

P-15

---

# Providence Tower Manila



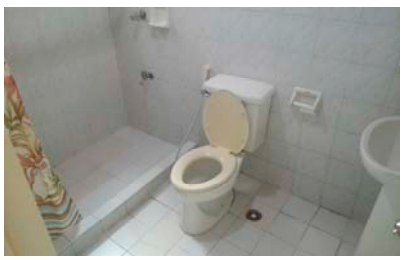

**デラサール大学公認コンドミニアム**

**管理人、オーナーもコンドミニアム内に住み込み**

**費用は部屋によるが2名部屋1名8,000ペソ～**

**4名部屋1名5,125ペソ～**




P-16

# サン・オウガスチン教会



インストラムロスにある世界遺産で
フィリピン最古の石造り教会
フィリピンの歴史、宗教などを
学ぶためにも校外授業の候補とする

結婚式も多く行われている







P-17

---

# 履修科目

| コース名 | | 週 | 時間 |
|---|---|---|---|
| 特定目的の英語(EPS)1 ： English for Specific Purpose 1 | | 14 | 42 |
| 特定目的の英語(EPS)2 ： English for Specific Purpose 2 | | 14 | 42 |
| 特定目的の英語(EPS)3 ： English for Specific Purpose 3 | | 14 | 42 |
| フロントオフィス講義 ： Front Office Lecture | | 14 | 28 |
| フロントオフィス実習 ： Front Office Laboratory | | 14 | 42 |
| フロントオフィスのためのIT (Opera) ： IT for Front Office (Opera) | | 14 | 42 |
| 料飲部門技術講義 ： F&B Techniques Lecture | | 14 | 28 |
| 料飲部門技術実習 ： F&B Techniques Laboratory | | 14 | 42 |
| バーマネージメント講義 ： Bar Management Lecture | | 14 | 28 |
| バーマネージメント実習 ： Bar Management Laboratory | | 14 | 42 |
| Hotel Benilde でのインターンシップ ： Internship at Hotel Benilde | | | 180 |
| 合計時間 | | | 558 |

P-18

# フロントオフィス講義

〈教育目標〉
1．プロのフロントオフィスに必要な顧客対応と対応能力で業務を行う
2．特定のマーケットにおける顧客からの予約の取り付け
3．多様な顧客の予約にみられる登録要件の履行

〈授業方法〉
1．クラスディスカッションを取り入れた講義方式
2．ケーススタディや、問題解決型訓練
3．グループワーク
4．ロールプレイとシミュレーション
5．デモンストレーション

〈評価方法〉
1．筆記試験
2．ケース分析
3．個人またはグループ課題

〈成績評価〉

| | |
|---|---|
| 口頭試験／出欠 | 15% |
| プロジェクト | 15% |
| 小テスト | 20% |
| 試験 | 50% |
| 合計 | 100% |

P-19

---

# フロントオフィス実習

〈教育目標〉
1．プロのフロントオフィスに必要なゲスト対応と対応スキルを明示する
2．多様なマーケットのゲストからの予約を取り付ける
3．多様なゲストの予約時に登録に必要な情報を集める
4．ゲストの滞在とチェックアウトの業務について正しい手続きについて示す
5．フロントオフィス業務全ての要素において、効果的なセールスを行う

〈授業方法〉
1．クラスディスカッションにつなげるための練習やロールプレイ
2．ケーススタディや、問題解決型訓練
3．学習体験を高め、幅を広げるためのマルチメディア、インターネット参照
4．経験を共有し、評価し合うような共同学習

〈成績評価〉

| | |
|---|---|
| 訓練 | 40% |
| 課題 | 20% |
| 小テスト | 20% |
| 試験 | 20% |
| 合計 | 100% |

P-20

# フロントオフィスのためのIT

〈教育目標〉
1. ゲストサイクルの4段階に併せてオペラPMSのフロントオフィスモジュールの機能を利用、操作、運用する
2. ゲストのアカウントの作成、予約やイベントの入力、オペラのセールス＆ケータリングモジュールの機能を利用、操作、運用する
3. オペラOMSとセールス＆ケータリングシステムの関係を理解する

〈授業方法〉
1. 講義デモ
2. シミュレーション
3. 実践課題
4. 実験、実践
5. ロールプレイ

〈成績評価〉

| | |
|---|---|
| 態度 | 10% |
| 小テスト | 20% |
| 実務作業 | 30% |
| 習ったことの実践 | 20% |
| テスト | 20% |
| 合計 | 100% |

P-21

---

# 料飲部門技術講義

〈教育目標〉
学生がウエイターに対して異なる認識を持ち、やりがいがあり、自分にとって利益をもたらす職業という考え方を得ることができる

〈授業方法〉
1. 講義ディスカッション
2. 設備の確認
3. 映像
4. グループ活動やケーススタディ
5. デモンストレーション

〈成績方評価〉

| | |
|---|---|
| 口頭試験 | 10% |
| ケーススタディ | 15% |
| 小テスト | 20% |
| 試験（中間） | 25% |
| 試験（期末） | 30% |
| 合計 | 100% |

P-22

# 料理部門技術実習

〈教育目標〉
1．実際の活動を通して講義コースで学んだ基礎と理論を生かす
2．食品・飲料サービスにおいて業界で定められた基準や手順で実演する

〈授業方法〉
1．実演を受けての実習訓練／反復練習、映像での学習
2．個人、グループでの成果発表
3．食品・飲料サービス集中訓練

〈成績評価〉

| | |
|---|---|
| 訓練 | 20% |
| 小テスト | 10% |
| 筆記試験（中間） | 20% |
| 筆記試験（期末） | 20% |
| 集中学習 | 30% |
| 合計 | 100% |

P-23

---

# バーマネジメント講義

〈教育目標〉
1．ホテル、レストラン、ケータリングビジネスの料飲部門のオペレーション範囲について理解し、実演する
2．バーや飲料サービスオペレーションにおける管理体制を形成しバーの管理システムや価格設定を確立する

〈授業方法〉
1．講義ディスカッション
2．デモンストレーション
3．設備の確認
4．グループ活動やケーススタディ

〈成績評価〉

| | |
|---|---|
| 口頭試験 | 10% |
| ケーススタディ | 15% |
| 小テスト | 20% |
| 筆記試験（中間） | 25% |
| 筆記試験（期末） | 30% |
| 合計 | 100% |

P-24

# バーマネジメント実習

〈教育目標〉

1. 様々な種類のバーの器具、設備、ガラス製品やバーの供給品について定義し、海外や国内市場で提供されているワイン、スピリット、リキュールについて、製造や品質について詳細な情報を含め、実務上の知識を高める
2. 世界に通用する基準に基づいたカクテルレシピを学び、自分独自のカクテルレシピを考えることができる。

〈授業方法〉

1. 講義ディスカッション
2. デモンストレーション
3. 設備の確認
4. グループ活動やケーススタディ

〈成績評価〉

| | |
|---|---|
| ケーススタディ | 5% |
| 実習活動・成果 | 15% |
| 実技 | 10% |
| 小テスト | 10% |
| 筆記・実技（中間） | 15% |
| 筆記・実技（期末） | 15% |
| 集中クラス | 30% |
| 合計 | 100% |

P-25

# インターンシップ

ホテルフロント、ベッドメイキング、ウエイターの3部門で行う

4ヶ月の期間中に3グループに分けて各部門のインターンシップを行う





※時間帯や適正の人数は部門によって異なるため
留学人数によって調整となる

P-26

# VATEL （ヴァテール）




- VATELはホテル経営学校の最大のグループ
  （24カ国に計31校）

- 世界的なネットワークを持ち権威があり魅力的なホテルチェーンやレストランでインターンシップを行うことができる

- ラサール大学では教育連携協定により2008年よりスタート

- マルコポーロプログラムにより国際交流の機会を得ている

※マルコポーロプログラム：国境を越え2つの学位を取得できるプログラムVATELから国際ホテル・マネージメントの学位を取得できます。













P-27

# フィリピン・デ・ラサール大学　調査報告

# 出張報告

日時　：　11 月 22 日（日）～11 月 27 日（金）

場所　：　フィリピン・デ・ラサール大学

メンバー　：

・アンジェロ氏　Angelo Marco Lacson, School Dean, DLS-CSB

・ロリー氏　Roland Sinense, Special Lecturer, DLS-CSB

・リベラ氏　Rodrigo Rivera, Professor,　DLS-CSB

・大類氏　AKI 財団

・松倉課長　浦山学園

・高野　浦山学園

・比嘉先生　沖縄ＫＢＣ学園

・馬波　直久　Leopalace21　PHILIPPINES　General Manager

・甲山　嘉隆　Leopalace21　PHILIPPINES

２２日（日）

・移動（富山～仁川、仁川～マニラ）

２３日（月）

・デ・ラサール大学とのミーティング

・校内視察

・大学周辺の調査

２４日（火）

・コンドミニアム視察

・セントルークスメディカルセンター視察

・レオパレス２１フィリピン担当者との打ち合わせ

２５日（水）

・デ・ラサール大学とのミーティング

２６日（木）

・コンドミニアム視察

２７日（金）

・移動（マニラ～仁川、仁川～富山）

① ホテル ESP 教材について

・日本の留学生受入条件として厳しい英語力レベルは求めていない。
しかし授業が全て英語で行われることから留学前に英検３級レベルまで上げる必要有り
３級レベルに達しない者は留学前に集中授業を行う
また、ホテル ESP 教材にて語彙 500 語の修得を基本とする。

・現地でのオプションとして英語の個人レッスンは可能だが内容や金額は決まった物がない
留学生の英語レベルによっても内容が変わるので、連絡を取りながら検討することとなった。

・ホテル ESP 教材にデ・ラサール大学の CD 画像、高野撮影写真の掲載、大学側からのドラフトに
日本語の解説を加えることへの了承を得た。

・教材は８モジュールを５モジュールへ圧縮する。
フロント、F&B、バーマネジメント各２モジュールを各１モジュールに変更

・必須語彙 500 語はフロント、F&B、バーマネジメント、フロントシステム、ホテル ESP の５モジュールにおいて、各１００語を設定。１モジュール毎２０語×５レッスン=１００語

・ＤＬＳ－ＣＳＢにおける ESP プログラムにおいては発音・作文等のコミュニケーションスキルの修得に重点を置き、宿題を課すほか、ロールプレーイングやプレゼンテーション等を実施する。
アクティブラーニングで行われる。
日本における ESP プログラムにおいては必須語彙５００語を中心とした教材ベースで授業･指導を行う。

② 教材について

・シラバスを基本にオリジナルの教授法のため、教材を持たない。
教授のまとめたパワーポイント、オンライン学習法などで学習するため、日本人留学生も教材はない。
教授達は職業キャリアの経験豊富な方々で構成されているので実学重視の方針である。
ただし、日本における ESP プログラムにおいて使用したテキストはＤＬＳ－ＣＳＢへ持参する。

③ インターンシップについて

・ホテルフロント、ベッドメイキング、ウエイターの３部門で行う
４ヶ月の期間中に３グループに分けて全ての部門を経験する。
時間帯や適正人員が部門によって異なるため留学人数により調整となる。

④ 校内環境

・デ・ラサール大学にはパソコン教室があり、授業等で使用している以外は時間を決めて学生に開放されている。授業で指示される補助教材にアクセスし学習できる環境になっている。

・学内に保健室があり、学校専用の救急車がある。留学生の既往歴を事前に提供する。

・ドレスコード有り。学生はスーツや実習着を着用。

・学生運営の軽食コーナー有り。

⑤ コンドミニアムについて

・UNIVERSITY COLLEGE RESIDENCE　レディースドミトリー

DLS-CSB より徒歩 30 秒

2 名部屋 1 名 7,900 ペソ（1 ヶ月）

冷蔵庫、電子レンジ、電熱プレート備え付き

室内にトイレ　シャワールーム有り

最上階にミーティングルーム有り

※学校に近いこと、設備関係から女子学生はこちらで契約したい

・M.AR　VILLA　Residences

DLS-CSB より徒歩 1 分

3 名部屋 1 名 5,500 ペソ（1 ヶ月）

冷蔵庫、電子レンジ、電熱プレートなし

共同トイレ　シャワールーム

※施設設備の観点から本学の留学生が入居する可能性は低い

・Providence Tower Manila　プロヴィデンス　タワー　マニラ

ベニールから徒歩 5 分

ラサール大学公認のコンドミニアム

4 ヶ月の契約 OK

部屋により設備が違う

管理人、オーナーもコンドミニアム内に住み込み

費用は部屋によるが 2 名部屋 1 名 8,000 ペソ～

4 名部屋 1 名 5,125 ペソ

女性コンドミニアムと比較すると金額の割に古く、キレイではない。部屋は広い。

※フィリピンでは水や温水が出ないなどのトラブルが頻繁に起こる

そのため管理人が近くにいるのは利点である。

留学生が利用できる範囲であると考えます。

・The Grand Towers Manila

ベニールから徒歩 15 分弱

2 名部屋 1 名 7,500 ペソ

3 名部屋 1 名 5,700～6,000 ペソ

徒歩 3 分圏内にショッピングモール有り

コンドミニアム内にプール、ビリヤード、卓球台、スポーツジム(有料)有り

部屋によってオーナーが違う為、部屋タイプがバラバラ。
４ヶ月の契約はOKだが、9月から入居の場合は8月くらいでないと予約できない。ロングステイ優先
予約時は１ヶ月分のデポジットと１ヶ月分の保証金を支払う
1Fにコンビニエンスストアやコインランドリー、レストラン等のテナントショップ有り
※立地条件は良いが契約のタイミングに制約があるのが難点。

⑥ その他

・サン・オウガスチン教会
イントラムロスにある世界遺産でフィリピン最古の石造り教会
併設する博物館では礼拝に使う調度品や礼服、などが展示されています。
※フィリピンの歴史、宗教を学ぶためにも校外授業の候補とすると良い。

・電車LRT（Light Rail Transit）について
駅名VITO CRUZ　（デ・ラサール大学セントベニール校から徒歩１０分）
VITO CRUZからPEDRO GILへ移動
VITO CRUZは駅校内ホームを行き来することができず、行きたい方向の電車が到着するホームの確認が必要。
運賃は４駅までが１２ペソ、５駅以降は１５ペソ、その後も距離に応じて料金は増えていきます。
１両目は女性専用車両だった。
始発　5:00、終電　21:30
※混雑時はスリの危険性が高く、貴重品はバックに入れて自分の前で持つと良い。また、日本と違い携帯電話を触っている人はほとんどいない。これも防犯の為とのこと。

・セントルークスメディカルセンター（St Luke’s Medical Center）視察
メディカルツーリズムの先進事例として院内見学

・学生VISAの関係で授業スタートは比到着３週間後からになる

・デ・ラサールからの契約書の件は付帯事項がある場合に限られる

・アジアンストリートフード　CHOMP CHOMP
ＤＬＳ－ＣＳＢから徒歩5分
100ペソから180ペソでラーメンやカレーなどのアジア料理が豊富にある。
大学生の利用客が多く、日本人留学生でも入りやすい。
味やお店の清潔感も良い

・ＤＬＳ－ＣＳＢのレストラン

150 ペソ程でサンドイッチやパスタ有り

ランチとディナーの間 (14:00～18:00) には 150 ペソでピザとパスタのバイキング　ドリンク付も有り、学生が多く利用していた。

# 自発的インターンシッププログラム
# 実証講座

2016 年 1 月 29 日

# 自発的インターンシッププログラム　事前指導・事後指導報告

川村学園女子大学　丹治朋子

実施校：富山情報ビジネス専門学校　ホテル・ブライダル学科
　　事前指導・事後指導・・・１年次生全員対象
事前授業：
　１回目　2015 年 12 月 4 日（金）2 限・3 限・4 限（90 分× 3 コマ）
　２回目　2015 年 12 月 11 日（金）3 限・4 限（90 分×2 コマ）

インターンシップ：12 月 14 日（月）～１月 14 日（木）
　　ANA ホテルクラウンプラザ富山　２名
　　富山第一ホテル　２名
　　ホテルニューオータニ高岡　１名

事後授業：2016 年 1 月 15 日（金）１限・2 限・3 限（90 分×3 コマ）

1 コマ目
・導入（教室の雰囲気作り）
・アンケート記入（１回目）約 10 分
　社会人基礎力１（社会人基礎力の事前・事後の差を測定）
　**進路選択に対する自己効力尺度（自己効力感の事前・事後の差を測定）**
・夏のインターンシップの振返り
・インターンシップの意味を考えるディスカッション

2 コマ目
・インターンシップの目的（討議結果）を再確認
・「自発的」の意味（全体で意見出し）
ワークシート１
①個人→②グループワーク 3－4 名→③発表（全体共有）

・「働く」意味を考える

3コマ目

ワークシート２

①個人で記入　　②グループワーク⇒発表

・「社会人基礎力」について

ワークシート３

①個人で記入（左側、事前の欄）

②強みの強化と弱みの克服の方法について個人で考える

③グループでの意見交換⇒発表

閑話休題ワークシート

①ワーク

②解説

＜来週にむけて＞

課題の説明

富山のビデオ⇒ディスカッション

初日終了後アンケート

4コマ目

・前回の振返り

ワークシート４「ホテル」のビジネスを考えよう

①　個人→全体共有

②　個人→グループ→全体共有

・「ホテルビジネス」に関する基礎知識

・ホテル業を取り巻くトレンドキーワード

ワークシート５　自分の目標を整理してみよう

5コマ目

・実習に当たっての注意事項

・宿題内容の共有

①グループワーク　３人１組

＊実習先ホテル

・競合はどこか、差別化のポイントは？

・ホテルウェブサイト等を参照しながら内容の確認

＊まちあるきプラン

・ウェブサイト等を参照しながら内容の確認

・必ず良かったポイントをあげ、１つ以上の質問をする

②全体発表　グループ代表の発表

・事前学習のまとめ

＜特に重要なこと＞

・あいさつ、笑顔

・折れない心　（ものごとを肯定的に捉える）

・メモ魔になる

・自分から！

・少しでもお役に立てるようにがんばる

インターンシップ　事後指導・報告会

日時：2016 年 1 月 15 日（金）9:00～14:30
場所：富山情報ビジネス専門学校
担当：川村学園女子大学観光文化学科　丹治朋子

スケジュール：
１限　9:00-10:30

| | |
|---|---|
| 09:00 | ・あいさつ<br>・インターンシップの意義の確認<br>-手元資料を見ずに挙げさせる<br>資料配布<br>内容確認 |
| 9:10 | ・インターンシップを終えた感想を聞く<br>-夏のインターンシップとは違った取り組み方ができたか？<br>-「自発的」にできたか？ |
| 9:17 | ・本日の流れの説明<br>・事後アンケート等記入説明（全員に説明）<br>・プレゼン制作の説明（全員に説明）<br>・実習前の学生には、ワークシート５の手直しに関する課題。ワークシート５の講評と改善提案。（全員に説明）<br>-まちあるきルートの事例 |
| 9:40 | ワーク開始<br>＊インターンシップ実施後の学生は事後アンケートとプレゼン制作、実施前の学生はワークシート５のブラッシュアップと再提出。いずれも各自の PC にて作業。<br>・事後アンケート記入 |

| | |
|---|---|
| | ・プレゼンテーション制作*（指導：髙野）<br>インターンシップ報告<br>①インターンシップ概要<br>（ホテル名、期間、配属部署（日数)、業務内容）<br>②事前に設定した目標<br>③到達の自己評価、今後の課題<br>④自発的に学べたと思うポイント<br>５枚以上。１名あたり４～５分のプレゼンテーション。<br>具体的な内容・エピソードを口頭でもよいのでもりこむこと。<br>・個別インタビュー（担当：丹治）<br>10:00～10:20　第一①／10:20～10:40　第一②<br>10:50～11:10　ANA①／11:10～11:30　ANA②<br>11:30～11:50　HNOT<br><br>ご参加の先生方へ<br>＊学生の様子、学生が持っている実習ノート閲覧、<br>別室の個別インタビューなどをご覧ください。 |
| 12:10～13:00 | 昼休み |
| 13:00～ | ・プレゼンテーション／質疑応答<br>（プレゼン５分×６名）<br>コメンテーター（学生）をつける<br>・講評 |
| 14:20<br>14:30 | ・アンケート記入<br>終了 |

以上

事後授業の前に現場実習に参加した５名の学生の「インターンシップ総括アンケート」の結果は次の通りです。

＜A ホテル＞

実習は１部門のみ、全体的にやることが少なく暇であり、接客もほとんどできず、ロールモデルになるスタッフを見つけられなかった２名

学生 A

・インターンシップの満足度は「どちらともいえない」接客をしたかったのにできなかったのが不満。

・ホテルは志望業界の一つであり、現在も変わっていない。

・事前授業があったことでインターンシップへの取り組み方、姿勢がかわったかどうかわからない。（実習中に、アルバイトとどこが違うのかわからなくなってしまった）

・授業を受けてから実習に行けたことは良かったと感じている。

学生 B

・インターンシップにはやや不満。接客したかったのにできなかった点が不満。

・ホテルは志望業界の一つであったが、現在は志望していない。

・事前授業があったことでインターンシップへの取り組み方、姿勢がやや変わった。

・インターンシップは授業をしてから言ったほうが仕事をしやすいし、日誌も書きやすかったです。ただ、もう少し内容の濃いインターンシップがしたかった。

＜B ホテル＞

・２週間ずつ２部門で実習をした。座学や見学などバランスよく、ロールモデルとなるスタッフさんをすぐに見つけられた。職場の人間関係もおおむね良く、気遣っていただけた。

学生 C

・インターンシップにはやや満足。

・ホテル業界は事前も事後も志望業界の一つで変化はない。

・事前授業があったことで、インターンシップへの取り組み方、姿勢はかなり変わった。

・今回のインターンシップの授業を通して、夏の実習に比べ、意識を変えて働くことができた。先生のユニークな体験談、知識が楽しかった。

＜C ホテル＞

・４週間で１部門を担当し、大変忙しい職場であった。ロールモデルになる人は見つかった。

学生 D

・インターンシップの満足度はどちらともいえない。ずっと同じ単純な業務で、特段仕事の意味等を教えてもらえる環境にもなかったため、アルバイトとの違いがわからなかった。

・ホテル業界は事前も事後も志望業界の一つで変化はない。

・事前授業があったことで、インターンシップへの取り組み方、姿勢はやや変わった。

・事前授業でインターンシップへの取り組み方、姿勢が変わったと実感したが、実際の実習ではアルバイトのような感じで、学べたことが少なかったように感じた。

学生 E

・インターンシップの満足度はやや満足。現場が忙しすぎて十分に教えてもらえる時間がなかった。
・ホテル業界は事前も事後も志望業界の一つで変化はない。
・事前授業があったことで、インターンシップへの取り組み方、姿勢はかなり変わった。
・ホテルに実習に行ってみて、志望業界から外したいと思った訳ではないので、もっといろいろ知って、自分の将来のためにじっくり考えようと思いました。

実習に行かなかった学生

・事前授業によってインターンシップへの取り組み方、姿勢の変化

①かなり変わった：２名

感想

・授業を受けて、「インターンシップに対する企業の気持ちを考え、自分は体験させてもらっているのだから雑用でも何でも積極的に取り組む」という気持ちになれた。
・インターンシップにどのように取り組めばいいか、どんなことを目標に取り組めばいいか分からなかったが、この授業で「目標となる人を見つけ、楽しくインターンシップをしよう」と思った。また、先生のすらすら上手に話しをする姿を見て、私も話し上手になりたいと思った。短い時間だったがたくさんのことを教わった。

②やや変わった：４名

感想

・インターンシップ事前・事後授業を通じてブライダルの業界だけでなく、ホテルについてもいろいろと学ぶことができ、これからのインターンシップへの取り組み姿勢が変わったと思う。
・将来のことを全く考えていなかったが、この授業を受けて、将来どのような仕事に就くかを考え始めるようになった。すごく楽しい授業だった。インターンシップではロールモデルを探したい。
・今回の授業で学んだことを活かして、メモ魔になって頑張りたい。
・これから都会のホテルでインターンシップをするので、しっかり目標をもって取り組み、多くのことを吸収してかえってきたい。

どちらともいえない：２名

感想

・５日後から東京で実習が始まるが、まだ志望業界は決まっていない。この実習を通してホテル業によいイメージを持てたらいいなと思う。皆の経験をきくとあまり良い印象を持てず、大変だったようだが、私もつらいことを乗り越えて、この実習で精神・技術面共に成長したい。

・この授業で学んだことを参考に、自分なりに「行って良かった」「学ぶことができた」と思えるインターンにしたいと思う。

# ホテルＥＳＰ実証講座

# English for Hospitality 短期集中講座

## @富山情報ビジネス専門学校　ホテルブライダル学科
## (2015.12/3. 7.10)

- 講座の目的

  新たに開発されるホスピタリティ業の専門英語テキストを活用した 90 分×６コマの短期集中講座を通じ

  - 将来仕事で使う「専門英語」とはどのようなものか、理解する
  - 一般的にホテル・ホスピタリティ業で使用される基礎的な専門用語約 50 語を使い、簡単な発話ができるようになる
  - より詳細な専門分野に特化した用語（ホテルフロント業務、飲食業各 20 語）を使い仕事場の具体的な役割に沿った会話に挑戦する
  - どのように語彙を習得し英語を学んでいったら良いか、学習方法を知り今後の英語学習に活かせるようにする
  - グループワークによるアクティブラーニングや ICT を活用した語学学習を通し、学習者自身が主体となって学んでいく方法を知り今後の学習に役立てる
  - 職業（特にホスピタリティ産業）における異文化コミュニケーションの重要性を理解し自身のキャリア育成に役立てる

- 講座内容（予定）

| 日程 | 内容 | 使用教材 |
|---|---|---|
| 12/3<br>9:00-<br>Lesson 1 | Introduction to Hotel and Hospitality English<br>（ホテル・ホスピタリティ英語入門編）<br>・ 仕事で使う専門用語とは？<br>・ ホテル業界の基礎的な用語 50 語を使って話してみよう | プリント（当日配布）<br><br>※新テキストの「Pre-Seminar モジュール１、２」部分から |
| 12/3<br>10:40-<br>Lesson 2 | Front Office English - Telephone conversation<br>（フロント業務専門用語　電話応対編）<br>・ フロント業務における電話に関する用語 20 語を習得しよう<br>・ 具体的な職場を想定した電話応対の会話を練習してみよう | プリント（当日配布）<br><br>※新テキストの「Module 1: Front Office Vocabulary」部分から |
| 12/7<br>9:00-<br>Lesson 3 | Food and Beverage English<br>(飲食業の専門用語)<br>・ 飲食業全般で使われる専門用語 20 語を習得しよう<br>・ 具体的な職場を想定したレストランでの接客英会話を練習してみよう | プリント（当日配布）<br><br>※新テキストの「Module2: Food and Beverage　Vocabulary」部分から |

| | | |
|---|---|---|
| 12/7<br>10:40-<br>Lesson 4 | English Practice for Hospitality Professionals<br>(ホスピタリティ業英語の発展練習)<br>・ e ラーニング教材を使ってレストランにおける接客場面の英会話を練習しよう<br>・ e ラーニング教材を使ってホテルのフロント業務の場面を練習しよう | e ラーニング教材 (ELTO)<br>(www.eltosystem.com)<br><br>※できれば各自タブレット、ノート PC、スマホなど用意 |
| 12/10<br>9:00-<br>Lesson 5 | Intercultural Communication for Hospitality Workers<br>(ホスピタリティ業のための異文化コミュニケーション)<br>・ 日本のホスピタリティ産業で働くにあたってどのような異文化コミュニケーション力が必要か考えてみよう<br>・ 文化による習慣の違い、宗教的タブーなどにつき基本的事項を学ぼう<br>・ 日本文化・地域文化の説明を英語でしてみよう | プリント (当日配布)<br><br>※新テキストの「異文化コミュニケーション」部分から |
| 12/10<br>10:40-<br>Lesson 6 | Production/Presentation<br>(プセゼンテーションの作成と発表)<br>・ 3 日間の講座の集大成として、講座で学んだ語彙や表現を使ってミニプレゼンを作成、授業の後半に発表する (Front Office, Food and Beverage, 異文化コミュニケーションの中から、自分の興味ある分野を選んで取り組む) | これまでに講座で使った教材 (プリント) を各自持参<br><br>※できれば各自タブレット、ノート PC、スマホなど用意 |

※表中「新テキスト」と記載しているのは、現在富山情報ビジネス専門学校とフィリピンのラサール大学との間で共同開発しているホスピタリティ業の専門英語教材のことです。

上記は予定であり、変更になることがあります。生徒さんたちの反応を見て、場合によっては適宜講座内容を変えていきます。

Hi, my name is Chiyoko Nogami-Maldonado. My husband is American-born Puerto Rican, so I have a Spanish last name. But you can call me ノガミさん. Looking forward to meeting you at the seminar.



沖縄、東京、栃木の専門学校の皆さんと

(成田空港出発ロビーにて　今年２月)

たった３日間の講座ですので、「これを受ければ英語がペラペラになる」ということはありえません。でも、講座を通して**英語の学び方や英語学習に便利なツールなどをご紹介**し、今後の参考にしていただけるようなレッスンができればと思っています。３日間の日程ですが、**毎回何か新しいことを**経験していただこうと考え企画しています。どうぞよろしくお願いします！

## 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | 10 | 9 | (8) | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

自分達でホテルの場合を想像してセリフを考えて伝えてみるのはとても楽しかったし、将来や冬の実習で役立てていきたいと思いました。

# 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

3日間、とても楽しく学ぶことができました。また、身に付いたことも多くありました。
授業で学んだことを今後に生かしたいです。

## 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

実際に使える英語がたくさんあって、
グループもワークも最後にみんなでしたのが楽しかったです。
3回の授業を楽しく学ぶことが出来ました!

# 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

、少ない授業の中で、たくさんの言葉をおぼえることができました!!

ありがとうございました(^^)

英語がじょうずになるよう努力します!!

## 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

今回のインターンシップ授業で、ホテルに関する英語を
知ることができ、ためになりました。
春のインターンシップで生かしたいです。
ありがとうございました。

## 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

英語を話せると色々な国の人と話すことができるので、
少しずつ勉強しようと思いました。

# 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | 10 | (9) | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

分からない単語や文語があっても
分かりやすく教えていただきありがとう
ございました。

# 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

楽しかったです。

# 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

楽しかったです。
実用したいです。

# 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

とても英語を楽しく学べて良かったです.
関心を持つ生っかけになりました.

# 特別授業　アンケート

## 12月10日(木)9:00～12:10

下記のアンケートにお答えください。

| 項　目 | はい → いいえ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業の目的・テーマ・内容は、あなたの関心が持てる内容でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 2. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容に興味・関心を持てま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 3. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分に理解できまし | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 4. 授業で配布された教材(プリント)や紹介された内容は十分マスターできま | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 5. ペアワークやグループワークへは積極的に参加できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 6. 先生の説明や授業進行のペースは適切でしたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 7. 先生の説明を十分に理解することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 8. 授業の内容について、楽しく学習することができましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 9. 授業での目標は、達成されましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10. 授業の内容は、将来役に立つものであると実感できましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 11. 次回の授業に向けての意欲は、十分に高まりましたか。 | (10) | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |

コメント

とても楽しかったです。

平成 27 年度　文部科学省

成長事業分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業

富山県におけるインバウンド対応のできる中核的ホテルマン育成

# 事 業 成 果 報 告 書

平成 28 年 2 月

連絡先　〒939-0341　富山県射水市三ケ 576
学校法人浦山学園　富山情報ビジネス専門学校
電話　0766-55-1420

＊ 本書の内容を無断で転記、記載することは禁じます。